

あなたの勇気が命を救う

9月9日は救急の日

突然、目の前で人が倒れてしまったり、あなたはそのように行動しますか。その人が大切な家族や友人の場合、後悔しないように適切な対応ができるでしょうか。

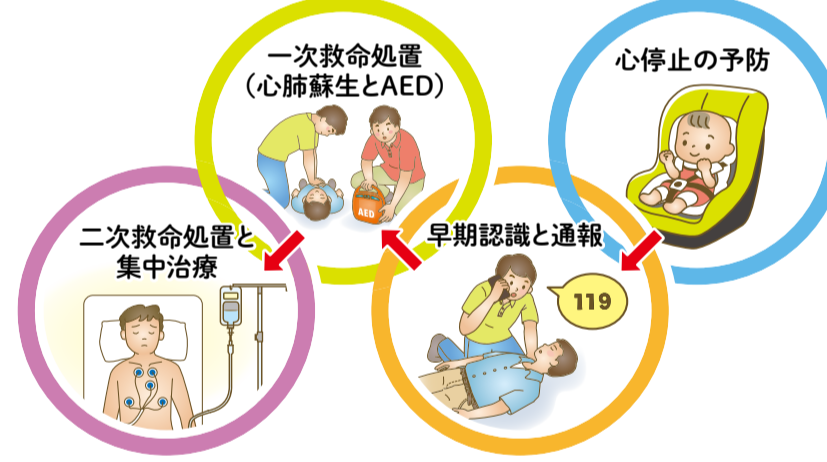
総務省消防庁によると、119番通報をしてから救急車が到着するまでの平均時間は全国平均で約9・4分です。また、心停止した人に対し、電気ショックが1分遅れるごとに救命率は約10%ずつ低下するといわれています。

厚生労働省と総務省消防庁は、毎年9月9日を「救急の日」と定め、全国で救急に関わるさまざまな取り組みが行われています。



119番通報により出動準備を行う救急隊員

1人でも多くの命を救うために
傷病者の命を救い、社会復帰に導くために必要となる一連の行いを救命の連鎖といえます。



これらが全て迅速に行われてはじめて、傷病者の救命が成功する可能性が出てくるといわれています。どれか一つでも欠けてしまうと、救命の可能性はほとんどなくなってしまうのです。

救急隊員の訓練をのぞいてみよう

各消防署では、年間を通じて救急隊員の訓練を行い、技術の向上を目指しています。

自動心臓マッサージシステム(ルーカス3)
現在、全救急車に自動心臓マッサージシステムを導入しています。この機器は心肺停止となった傷病者に対して、最も重要である「絶え間ない胸骨圧迫」を一定のリズムと強さで行うことができます。狭い場所や長距離搬送など、胸骨圧迫の中断を余儀なくされるケースでも有効であり、救命率の向上が期待できます。

専用の器具で酸素を送ります

気管にチューブを入れる気管挿管

人形と連動したタブレットを見ながら胸骨圧迫

押している場所や深さなどが分かります

さらに頭部をバックボードに固定

頭が動かないようにしっかり固定

全身をしっかり固定

バックボード(オレンジ色の板)に傷病者を乗せます

慎重に救急車へ運び込みます

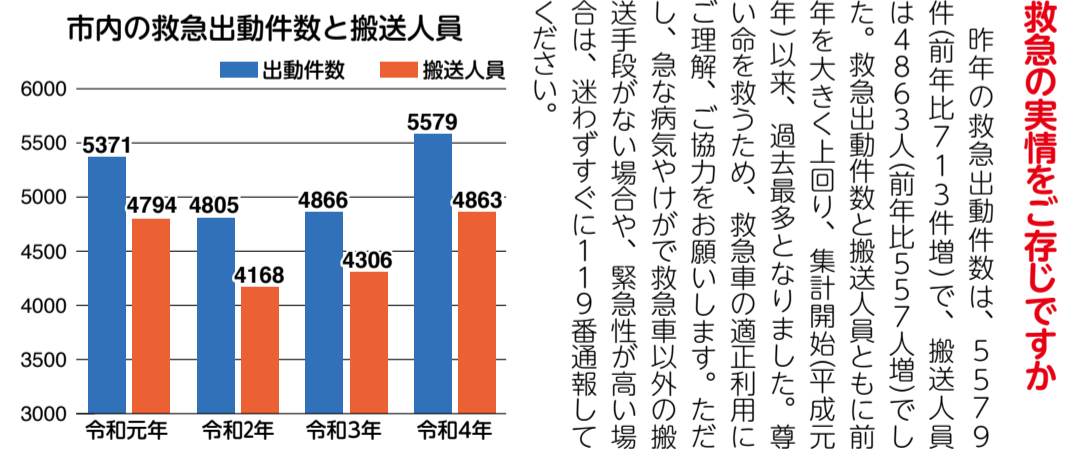
PA連携活動訓練

消防・救急隊員による、交通事故が発生し、傷病者の搬送を想定した訓練を実施しました。

救命処置の流れ

- 1 反応の確認**
もしも夫大丈夫ですか？
- 2 助けを呼ぶ**
119番通報をお願いします！
AED持ってきてください！
- 3 呼吸の確認**
※迷ったときは呼吸なしと判断して、次の行動に進みます
10秒以内で胸とお腹の動きをみる
- 4 胸骨圧迫開始**
強く(胸が約5cm沈む程度)
速く(100~120回/分のテンポ)
絶え間なく
圧迫位置は胸の真ん中。胸骨の下半分。

日本救急医学会ホームページ「市民のための心肺蘇生」より引用



救急の表情を「こ」存じですか
昨年の救急出動件数は、5579件(前年比7・3件増)で、搬送人員は4863人(前年比5・7人増)でした。救急出動件数と搬送人員ともに前年を大きく上回り、集計開始平成元年(以来、過去最多となりました。尊い命を救うための、救急車の適正利用にご理解、ご協力をお願いします。ただし、急な病気やけがで救急車以外の搬送手段がない場合や、緊急性が高い場合は、迷わずすぐに119番通報してください。

派遣型救急ワークステーション
119番通報の内容により、重篤な傷病が疑われる場合や多数の傷病者が発生した際は、早期医療介入による救命の向上を目的に、東海大学医学部付属病院の医師や看護師が救急車に同乗しています。救急現場で医師の判断によって行う医療行為には、費用が発生する場合があります。

救急支援活動(PA連携)
消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動を行うことを消防ポンプ車(Pumper)と救急車(Ambulance)の頭文字からPA連携と呼んでいます。通報内容から重篤・重症と思われる傷病者、または3階以上に居住し、搬送困難な現場や狭い場所などには、安全かつ迅速に搬送する目的で消防車も同時に出動します。

命をつなぐ、救命の最前線

市消防本部で、救急救命士として活躍している田中さんに話を聞きました。

救急現場で対応できるように
私は子どものころ、交通事故現場に遭遇したことがありました。そのときに、何もできなかったことから、自ら行動して人を助けることができるようになりたいと思ったことが救急隊員になりたいと思ったきっかけです。

伊勢原市消防本部で現場に出動する隊は、消防・救助・指揮・救急の4つに分かれており、入庁して最初の3年は消防隊に配属されました。

その後、希望していた救急隊に配属されたとき、救急救命士の資格を取得しました。

救急隊の業務は119番通報があったときの出動のほか、ワークステーションとして東海大学医学部付属病院の医師や看護師が救急車に同乗して出動する医療の連携もあります。ワークステーションでは、医療の早期介入のため、救急車2台または消防車と同時に出動し、現場で医師が処置を行うことがあります。もちろん、日ごろから救急訓練も欠かせません。

チームで連携して業務に当たる
救急隊は1出動に対し3人で業務に当たっています。少数で行うため、それぞれがしっかりと役割を認識し、全員が必ず助けるという志のもと、効率的に動く必要があるため、チームワークが求められます。

められます。常に仲間とコミュニケーションを取るよう心掛けており、現場以外でも積極的に話をし、お互いの考えを共有するよう意識しています。

この仕事は大変なことも多いですが、心停止していた方を助け、社会復帰された姿や、逆子で危険な状態の赤ちゃんと無事産まれ、大きくなった話を聞いたときはとてもうれしく、日々の仕事の励みになります。

傷病者を見かけたら、まずは落ち着いて
私自身、昔は何もできないくらい動揺した経験があるので、冷静に対応することは簡単なことではありません。

もし、具合が悪そうな方を見かけたら、まずは119番通報してください。情報指令係員が冷静に指示を出し、必要なことを教えてくれます。救急車が来るまで電話をつないでおくこともできます。また、救急車が来るまで本人に対し、声をかけ続けることも重要です。少しでも様子がおかしいと思えば、再度119番通報していただきたいと思います。皆さんの勇気で救われる命があります。

9月の救急に関するイベント

救急フェスティバル
心肺蘇生法やAEDの取り扱い、救急車展示、救急資器材の説明ほか
とき 9月2日(土)午後1時~4時30分
ところ 総合運動公園子どもの広場

上級救命講習会
とき 9月8日(金)午前9時~午後5時
ところ コミュニティ防災センター(南分署)

申込み 電話で直接担当へ
締切り 9月1日(金)午後5時